

# 忍び寄る危機、“組織崩壊”を考えるセミナー

平成27年11月6日(金) 13:30~15:00

発信元：(株)クリエイティブ・マネジメント 札幌市中央区南1条西8丁目20-1-603  
<https://crea-m.net/> TEL. 011-221-1991 FAX. 011-221-1992  
お問合せ： [info@crea-m.net](mailto:info@crea-m.net) (野崎)

「ジャパン・アズ・ナンバーワン」と言われた1980年代、(米国ではワーク・ライフ・バランスの萌芽期)、わが国にはまだ“日本的経営”がありました。

しかしその後、「プラザ合意」があり、日本では「円高不況」、→「公共事業による内需拡大」と「低金利政策」、→「財テクバブル」、→「バブル崩壊」といった道を辿りました。

そして「失われた20年」とも言われた長い経済低迷期が続きましたが、この間に、グローバル化の進展とあいまって規制緩和や自由化が進みました。日本版金融ビッグバンや労働者派遣法改正による非正規雇用の増大、インターネットの普及による競争ルールの変化など、企業を取り巻く環境は激変しています。加えて、最近では、異常気象による経営への影響にも大きなものがあります。

「失われた20年」の間、多くの企業は防戦一方で、前向きな投資をほとんどしてこられなかった。そして日本的経営の特徴とされた終身雇用・年功序列・企業別組合のほか、株式持合や稟議制度によるボトムアップ型意思決定、家族主義的経営などはことごとく変革を迫られました。

日本的経営には良し悪し両面あると思いますが、そこで培われた組織風土なり企業文化といったものには、その企業としての“強み”や“底力”が秘められていたと思います。

「ワーク・ライフ・バランス」がわが国でも提唱され始めた2008年当時、「何かが違う」と感じたのは、この組織風土から生まれる“底力”を回復しないかぎり、機能しない(成果が出ない)と直感したからだ、今、思うのです。そしてこれは、経営革新を図ろうとする際にも、同じことが言えると気づきました。

ここへきて、社員教育等、人材面へのテコ入れを進める動きもあるようですが、非正規雇用にまで及んでいる訳ではありません。また、急遽、中途採用で人材確保しようとしても期待する人材が採れないか、採用できたとしても定着しない、もしくは本来の力を発揮できない状況が多いのではないのでしょうか？

日本人はもともと農耕民族です。タネを蒔いて水や肥料をやり育て、収穫します。その土壌が肥えていないと作物はよく育ちません。

企業も同じで、新卒採用（播種）であれ中途採用（苗購入）であれ、水はやっても肥料（人材育成・教育等）を与えなければ、うまく育つ（力を発揮する）ものではありません。土壤がやせてしまっていては、途中で枯れてしまう（定着せず辞めて行く）こともあります。

つまりここで言いたかったのは、企業の土壤（組織風土・企業文化）を肥沃にしなければ、これからますます強まるであろう異常気象（経営環境の激変）に耐え、生き残っていくことができないのではないかと、ということです。

こうした事態に対する私どもなりの考えを提案するため、セミナーを企画しました。「忍び寄る危機、“組織崩壊”を考える」セミナーです。  
ご興味のある方は、是非、ご参加ください。

（※ 弊社ホームページのトピックスには、もう少し詳しい説明がありますので、併せてご覧いただければ幸いです。 → <https://crea-m.net/> ）

- 対象者： 経営者 または 総務・人事部長 等
- 日 時： 平成 27 年 11 月 6 日（金、13:30～15:00）
- 会 場： 札幌市中心部の会場を予定（お申込み頂いた方に後日ご連絡します）
- 参加料： 無料
- 締 切： 平成 27 年 10 月 27 日（火）

----- 切り取らずに **申 込 書** FAXしてください -----

お申し込み先FAX→ 011-221-1992  
メールでもお受けしています → [info@crea-m.net/](mailto:info@crea-m.net/)

会社名			
ご住所	（〒                   ）		
TEL		FAX	
お役職		お役職	
ご氏名		ご氏名	
E-mail		E-mail	